

南山大学広報誌

# NANZAN

## BULLETIN

vol.212  
2020.3.20

特集

鳥巢学長から

キサラ新学長へ



NANZAN  
UNIVERSITY



# ロバート・キサラ 新学長 就任

2020年4月、ロバート・キサラ教授が鳥巢学長よりバトンを引き継ぎ、学長に就任します。

令和の時代を舵取りする新学長に、これからの南山大学について伺いました。

南山大学 第8代学長

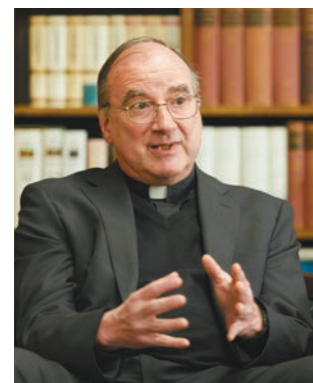
Robert Kisala  
ロバート・キサラ

1957年生まれ。アメリカ合衆国(シカゴ市)出身。Divine Word College 数学科卒業後、Catholic Theological Union 大学院神学研究科、東京大学大学院人文科学研究科修士課程および博士課程を修了し、M.A.Theology、文学修士、博士(文学)を取得。1985年、司祭叙階。1995年より南山大学で教鞭を執る。2020年4月、南山大学長に就任。神言修道会日本管区長、総顧問、副総会長などカトリックの各種要職を歴任。趣味は野球観戦(中日ドラゴンズファン)と切手収集。好きなものは温泉と手羽先。



## 神言会での活動を経て再び南山大学へ

—キサラ先生は、神言修道会の本拠地であるローマにて副総会長を務められ、2018年に12年ぶりに南山大学へ戻られました。先生の目に映る現在の南山大学の姿は？



キサラ新学長 (以下略)

待望の日本帰国でしたのでとても嬉しく、12年ぶりの南山大学の変貌にも目をみはりました。このたび学長を拝命し、身の引き締まる思いと同時に将来を明るく展望しているところでもあります。私にできることを一生懸命考え、真摯に務めたいと思います。

鳥巢学長のリーダーシップのもとキャンパス統合が行われ、1つのキャンパスに8学部・6研究科を擁する規模となった本学。グローバル化社会に対応する人材育成のために、海外の協定校の数や短期留学の機会を増やしてきました。この流れを継続すると共に、キャンパス内の多文化交流を促進していきたいと考えています。

## 南山のアイデンティティである「国際性」と「人間の尊厳のために」

—学長就任にあたり、先生のお考えは？

キーワードを挙げるなら「国際性」と、教育モットーである「Hominis Dignitati~人間の尊厳のために~」の2つです。南山のアイデンティティに立ちかえり、お話をさせていただきたいと思っています。

現在、世界各地で他者を受け容れない、排他的な雰囲気広がっています。私が神言修道会の一員としてローマで勤めた12年の間に、世界中から集まった仲間と共に世界35カ国へ赴きました。中でも印象に残っているのは、内戦が続く南スーダンでの活動です。

現地の人々はたびたび起こる内戦により、すべてを失った状況でした。かの地で私たちに何ができるか。考えに考えてたどりついた答えは「人々が将来に向けて希望が持てるよう、一緒に働くこと」でした。市民が苦しんでいるのに、戦争は終わらないという現実。なぜ指導者たちは権力争いのために人々の日常を奪うのか。私は残念でなりません。その中で希望を持つとは？彼らと共に働き、将来に希望を持てるよう寄り添う、それがその時の私にできることでした。

近年の若者世代は内向き志向で、海外に行きたがらない人が多いと聞きます。インターネットで検索すれば画像や情報は何でも手に入り、わかったような気になれます。しかし、学生の皆さんにはぜひ海外へ赴き、人と触れ合い、その土地の匂いや食文化を含め、五感すべてを総動員して感じて欲しいのです。そういった経験ができるよう、南山大学ではクォーター制を導入して世界各国の大学との間で短期留学プログラムを構築しています。さまざまな国の言語が飛び交うキャンパスで、日常的に「世界の中の自分」を意識してみてください。また国際的な研究拠点として、学生のみならず教職員も交流していきます。

地球環境の問題や経済についても、今はひとつの国で完結できる世の中ではありません。南山学園は2008年に環境宣言を発表していますが時が経ち、地球環境はさらに悪化しています。いま大学として環境保護のために何ができるか。再生エネルギーの活用やキャンパスでのプラスチック利用をなくす等の具体的な取り組みが必要です。

「世界の中の自分」を意識し、行動ができるグローバルな人材を育てること。これは脈々と受け継がれてきた南山大学の使命です。その根底に息づくのは「人間の尊厳のために」という、多様性を受け入れ、他者も自身も大切にすることです。南山大学の発展のために今の私ができることを考え、これまでの経験を大学運営に生かしていきたいと思っています。

## 「思う以上の力」を引き出すには？

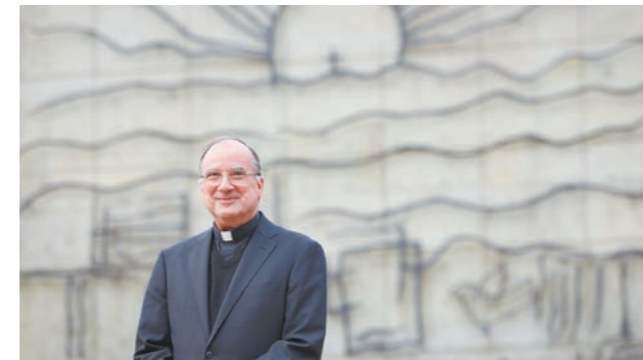
—世界に貢献したい、という志はあってもどうしていいかわからない、という学生は何かから始めたら良いでしょうか？

私もそうですが、「目標を持ち、いま自分にできることを考えて一歩ずつ行動する」ことです。歩みを続けていけば、やがて大きな潮流となります。そのために、ひとりひとりが自身の本当の価値を見だし、自ら課題を見つけて動

ける人になって欲しい。学生が世界へと意識を向けられるよう、授業や留学経験等を通して刺激を与えることができれば、と私たち教職員も工夫を凝らしています。キャンパスに留学生がたくさんいることも刺激になるでしょう。キャンパス全体でその雰囲気を醸成していけたらと思っています。



「思う以上の力」を引き出す。—このフレーズは、私の好きな映画「インビクタス(負けざる者たち)」(南アフリカのネルソン・マンデラ氏が、大統領就任後にラグビーワールドカップを招聘し開催国となり、アパルトヘイトの色濃い自国チームが人種の壁を超えて優勝した実話に基づくストーリー)からの引用です。マンデラ大統領は、チームを率いるキャプテンに「目標を超えるためには、一人ひとりが思う以上の力を引き出すことが必要だ」と語りかけています。私もチーム南山のキャプテンとして、学生・教職員の皆さん一人ひとりが持つ力を最大限に引き出せるような環境整備と、知的好奇心を刺激していきたいと思っています。



## 共に学び、働き、よりよい未来へ

—大学運営にあたり、教職員や卒業生を含めた「オール南山」で推進していきたいとおっしゃいました。先生のお話には「一緒に」という言葉がよく出てきます。

2021年9月に、本学は前身である南山外国語専門学校の創立から75周年を迎えます。私たちはこの節目をどのように迎えるのか、そして未来に向けて何をすべきなのか。また、今年はオリンピックイヤーでもあります。オリンピックのモットー「より速く(Citius)、より高く(Altius)、より強く(Fortius)」、この精神が「思う以上の力を引き出す」ことにつながるのではないかと考えています。

今期より4人体制となる副学長の皆さんや教職員と共に、南山をひとつの共同体として捉え、これからの南山大学について考えていきたいと思っています。保護者の方々や卒業生の皆さんも、ぜひアドバイスをお寄せください。

## 本学初の

## 副学長4人体制として始動

1月17日開催の学内理事会において、次期副学長を決定しました。任期はいずれも2020年4月1日から2023年3月31日までの3年間です。

担当	氏名
総務担当・将来構想担当(再任)	青木 清(法学部 教授)
学務担当	鈴木 達也(外国語学部 教授)
研究推進担当・教育支援担当	奥田 隆明(経営学部 教授)
グローバル化推進担当(再任)	星野 昌裕(総合政策学部 教授)

皆が一つになり、ますます南山らしく、魅力的に発展されることを祈ります。

—南山大学 第7代学長 鳥巢義文(とりす よしふみ)

## 退任挨拶

皆さん、南山大学第7代学長の鳥巢義文です。2020年3月31日をもって定年退職となります。私が本学文学部神学科に着任したのは、1992年4月のことでした。2000年度の学部改組の折に人文学部キリスト教研究所所属となり、今日まで奉職させていただきました。

私は南山大学の卒業生です。1973年に文学部哲学科に入学し、卒業後、改めて神学科に編入学。さらに大学院文学研究科神学専攻に進学しました。1982年3月の修士課程修了まで、1年間の休学を含みますが、南山大学で9年間、学術的課題の発見と解決に向けて、諸先生方からご指導を受け、悩みつつも楽しく学びました。その後、しばらく教会で奉職し、神学博士号をオーストリア共和国ウィーン大学で取得。帰国後、本学へ戻って、教育研究に携わりました。2008年4月から3年間、南山短期大学長を務め、その後、南山大学長には2017年4月に就任しました。1年目はキャンパス統合完成の年でした。任期中、「自覚・成長・円熟」という三つの語を胸に刻み、本学の教育研究充実のためのプロジェクトを、既存の構想通りあるいは新たに、いくつか具体化することができました。脳裡に浮かぶものを羅列すれば、国際教養学部設置、クォーター制導入、各学部の短期留学プログラム、キャンパス整備レーモンド・リノベーション・プロジェクト、グラウンドの人工芝化、上智大学との包括協定締結、多文化交流ラウンジ(ステラ)開設、南山チャレンジプロジェクト実施、NU-COILの取組、大学Webページのリニューアルとインスタグラム開設、法学研究科設置、そして理工学部改組申請などなど。

これらすべては、私と共に大学運営に携わってくださった執行部を始めとする、本学のすべての構成員の皆さんのご協力、そして、後援会、友の会、同窓会の皆さんとの幅広い連携と協働の賜物であり、心より感謝申し上げます。これからも、本学の建学の理念や「人間の尊厳のために」の教育モットーのもとに、皆が一つになり、ますます南山らしく、魅力的に発展されることを祈ります。

Y. Torisu



学部・学科別志願者数・合格者数推移

Table showing enrollment and admission numbers by faculty and department for the 2020 entrance exam. Columns include faculty, department, exam type, and applicant/admission counts.

2020年度入試

※センター利用入試〔後期〕の結果につきましては、大学Webページ「受験生の皆様」にてご確認ください。https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/



主要3入試(センター利用入試〔後期〕を除く)の総志願者が減少

2020年度入試の志願者数は、一般入試が10,664人、全学統一入試は〔個別学力試験型〕が4,977人、〔センター併用型〕が3,079人、センター利用入試は〔前期3教科型〕が2,099人、〔前期5教科型〕が1,318人、主要3入試(センター利用入試〔後期〕を除く)の合計では22,137人(昨年度比90.5%)となりました。

2020年度入試の概況

大規模災害により被災された方への特別措置の対象として、2020年度入試より新たに令和元年台風15号と令和元年台風19号を追加しました。試験当日は、全学統一入試では富山試験場と金沢試験場において公共交通機関遅延の影響により試験開始時間を30分遅らせる措置を行い、試験を実施いたしました。一般入試では、天候にも恵まれ、試験は無事に終了しました。

合格発表

合格発表は2月20日に、Webページ上に合格者の受験番号を掲載し、併せて合格通知書(入学手続書類を含む)を送付する形で行いました。今年度の合格者数は、一般入試が3,311人、全学統一入試は〔個別学力試験型〕が1,298人、〔センター併用型〕が1,220人、センター利用入試は〔前期3教科型〕が1,128人、〔前期5教科型〕が824人でした。

2020年度入試 都道府県別志願者数・合格者数

※ 2020年2月20日合格発表分

Table showing applicant and admission numbers by prefecture for the 2020 entrance exam. Columns include prefecture, applicant count, and admission count.

※高等学校卒業程度認定試験・外国の学校等・文部科学大臣の指定した学校・在外教育施設・専修学校の高等課程を指します。

2019年度入試

Table showing enrollment and admission numbers by faculty and department for the 2019 entrance exam. Columns include faculty, department, exam type, and applicant/admission counts.

News

本学Q棟が、第27回愛知まちなみ建築賞を受賞

本学Q棟が、第27回愛知まちなみ建築賞を受賞しました。これは、愛知県が、良好なまちなみ景観の形成や、潤いのあるまちづくりに寄与するなど、良好な地域環境の形成に貢献していると認められる建築物やまちなみを、平成5年度より「愛知まちなみ建築賞」として表彰しているものです。今回は55作品の応募の中から7作品が選ばれ、いずれも愛知の「まちなみ」および「建築」をけん引していく作品として社会的貢献度が高いと評価されました。



2019.11.22

ウズベキスタン国立世界言語大学から、Ganisher Rakhimov学長と共同教育課のAnvar Nizamov氏らが鳥巢学長を表敬訪問され、両大学間における今後の連携の可能性について意見交換を行いました。その後、Rakhimov学長による講演会が多文化交流ラウンジにて開催され、同大学の特徴や、ウズベキスタンの文化、日本との関係などについてお話いただきました。





## 私の研究



名倉 正剛 (なぐら まさたか)  
理工学部 ソフトウェア工学科 准教授

専攻分野は、ソフトウェア工学。  
研究テーマは、ソフトウェア開発、運用保守支援。  
主な担当科目は、分散システムとクラウド技術など(成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPIT)社会人向け科目)

稼働までの開発費と、稼働開始後の保守運用費は、ほぼ同額だそうです。すなわち、作るのと同じだけの手間が、動かすことに掛かることになります。このシステム開発と保守および運用のプロセスを支援する技術について、研究を行っています。

例えば、書き方が「きたない」プログラムに誤りが多く含まれそうなことは直感的に感じられると思います。どの程度きたなければ稼働開始後に誤りによる問題を発生させることが多いか分かれば、きたないプログラ姆に対し、誤りを引き起こさないための作り直しの機会をソフトウェアの開発段階で与えることができ、保守に掛かるコストを抑えることができます。ソフトウェアの規模は日々大きくなるにもかかわらず、今後の生産人口は残念ながら減少していきます。「開発」と「保守」の難しさを緩和させることのできる要素技術を確立していきたいと考えています。

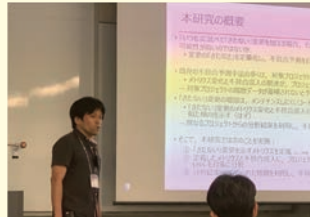
## システム「開発」と「保守」の難しさ

私の研究領域は、「ソフトウェア工学」です。ソフトウェア工学という言葉は非常に簡単に説明すると、コンピュータプログラム(ソースコード)の構造や、その開発や運用に関する作業を対象に、信頼性や保守性を向上させる要素技術について研究をする分野です。

コンピュータにより実現されるシステムが社会的な役割を増大させており、開発することも大変であれば、それを誤らせずに(障害を発生せずに)動作させ続けることも大変なことは、容易に想像できると思います。ある調査によると、新規システム



開発中のソースコード(上半分)に対して実装漏れのコードを検出し提示する技術の結果表示(下半分)



学会発表で講演する様子

## 私のクラス



岩崎 典子 (いわさきのりこ)  
人文学部 日本文化学科 教授

専攻分野は、応用言語学(留学研究、言語アイデンティティ、語用論的能力)。現在の研究テーマは、「移動とことば」とアイデンティティ形成、第二言語話者の口頭能力、オンラインへの使用など。  
主な担当科目は、第二言語習得研究、口頭能力研究、日本語の会話教育、日本語教育文法(中級)、日本語教育研究。

## 第二言語話者の視点から会話教育を考える

私は応用言語学(第二言語習得研究・日本語教育)の専門家です。応用言語学は、ことばに関わる人や社会の諸問題を解決するための学問です。

ここでは「日本語の会話教育」を紹介いたします。今回はまず学生は英語など第二言語(母語ではないことば)で話すときの楽しさやもどかしさについて振り返りを行い、その後、日本語母語話者が外国人のために言語を調整する「フォーリナートーク」や「やさしい日本語」についての論考を読み、同じ論考を読んだイタリアの学生(ベネチアのカ・フォスカリ大学で日本語の社会言語学を履修する大学院生)と授業外にSNSで意見交換をするCOIL

(Collaborative Online International Learning)を行いました。実際に日本語を第二言語として話す学生と日本語で話し合い、彼らの視点や経験から学び、さらに、論考の筆者の木村護郎(上智大学)や辛銀眞氏(韓国の明知大学)への質問をグループでまとめ、お二人からビデオでお答えをいただいて視聴しました。

日本語母語話者が相手の外見や訛りで日本語能力を判断して過剰な言語調整を行う傾向のたまたす問題に留意して、日本語を学習する人それぞれの目的にふさわしい会話教育について考え、どのような教室活動を計画するのか、どのような表現が役立つのかなどをグループで話し合いました。

第二言語として日本語を使用する人たちとの意見交換を通して、自分らしい日本語でコミュニケーションする力を伸ばす「日本語教育の在り方」について考えています。



「日本語の会話教育」の授業風景



グループワーク中の様子

## Special Events

2019.12.2-2019.12.6

### インターナショナルウィーク ～ヨーロッパフェスタ～

多文化交流ラウンジStellaで「インターナショナルウィーク～ヨーロッパフェスタ～」を開催しました。

ヨーロッパの様子がわかる写真の上映や、フランス、スウェーデン、ドイツ出身の留学生による母国に関するプレゼンテーション、ヨーロッパで人気のボードゲーム・カードゲーム体験会、外部講師による西洋美術に関する公開講演会などを行い、賑やかな1週間となりました。

さらに、期間中はリアンカフェとコラボし、1日限定30食でイタリア料理(ミートパト라의フィットチーネ・ミラノ風カツ)を提供しました。



2019.12.8

### 2019年度南山大学・豊田工業大学連携講演会 『「ヒトの動き」における工学とスポーツ科学の接点について』

2019年度南山大学・豊田工業大学連携講演会『「ヒトの動き」における工学とスポーツ科学の接点について』を南山大学G棟G27教室で行い、約130名の方にご来場いただきました。南山大学と豊田工業大学との連携講演会は、両大学の連携姿勢と成果を広く社会に周知することで社会的な認知度をあげると共に、地域一般の教養啓発をはかることを目的に行っており、今年で14回目の開催となりました。

豊田工業大学からは工学部・浮田宗伯教授が「カメラによる人の動きの解析とその応用～生活の質向上に向けた応用例～」、本学からは体育教育センター(理工学部)・飯田祥明講師が「現場と研究との橋渡し」としての「スポーツ動作分析」と題し、それぞれ講演を行いました。



豊田工業大学・浮田教授



本学・飯田講師

## 活躍する南山大生

2019年10月から12月にかけて、様々な学術分野における大会・コンクールで入賞した学生をご紹介します。

### 外国語学部

- ◇第28回駿河台大学ドイツ語暗唱大会(2019年10月19日)  
外国語学部ドイツ学科2年 鈴木友美加さん・日比野未歩さんペア 2位  
演題:「Fernsehabend」
- ◇ドイツ語教育部会第1回アイデア賞コンテスト(2019年10月20日)  
外国語学部ドイツ学科2年 杉浦彩希さん・鈴木友美加さんペア 最優秀賞  
テーマ「斬新なドイツ語学習法 mit スマホ」のもと、アイデアをプレゼンテーション
- ◇Javeriana Canta 2019(2019年10月25日)  
外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科3年 銅島英辺留さん(ASOBINEXT所属)  
留学先のハベリアーナ大学(コロンビア)で開催されたオーディションに合格。  
副賞として、自身で作詞を行いプロの作曲家より楽曲提供。タイトルは「Arigato」。
- ◇江蘇杯 中国語スピーチコンテスト(2019年12月7日)  
外国語学部アジア学科4年 彦坂仁菜さん 大学の部一等賞・中国駐名古屋総領事賞  
演題:「珍惜一生一会的缘分(一期一会のご縁を大切に)」
- ◇全日本学生ドイツ語弁論大会(2019年12月7日)  
外国語学部ドイツ学科2年 鈴木友美加さん 5位(ドイツ商工会議所賞)  
演題:「Bringen Jobs uns wirklich Vorteile?(バイトは本当に利益をもたらすのか)」



鈴木さん、杉浦さん

彦坂さん

鈴木さん

### 経営学部

- ◇Sカレ(Student Innovation College)2018(2019年10月20日)  
経営学部経営学科4年 川北ゼミ美販チーム  
(中野真緒さん、服部愛実さん、水野蛍さん)  
総合準優勝  
株式会社美販と「べっちゃんこ虫かご」を共同開発



服部さん、水野さん、中野さん

### 法学部

- ◇東海学生刑法学会(2019年12月1日)  
法学部 丸山ゼミ 第1位  
事例解決のためのゼミ対抗コンペ



### 理工学研究科・理工学部

- ◇The 16th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (IEEE TOWERS) (2019年10月19日)  
理工学研究科機械電子制御工学専攻博士前期課程1年 宇田伊吹さん  
理工学部機械電子制御工学科3年 多田舘也さん  
Event Award  
テーマ「エセ科学はどうやって撲滅できるか?」のもと、グループディスカッション
- ◇日本バスケットボール学会  
第6回大会(2019年12月20日-21日)  
理工学部機械電子制御工学科4年  
本間大幹さん 学会賞(ポスター賞)  
発表タイトル:「バスケットボールにおけるArduinoを用いた  
仮想対人練習機器の  
作製と評価」



本間さん

### 国際教養学部

- ◇第12回インドネシア語スピーチコンテスト(2019年11月17日)  
国際教養学部国際教養学科3年 竹丸葵さん  
暗唱の部最優秀賞  
演題:「Karawang-Bekasi」



竹丸さん

## 南山のDNA



鷺津 千夏

理工学研究科  
機械電子制御工学専攻博士前期課程  
2015年度修了

### Profile

大学院修了後に株式会社デンソーへ入社。エレクトリフィケーションシステム技術部 車両システム技術室に所属し、電動化システムの研究開発や車両システム設計等に従事。昨年に第一子を出産し現在は育児休業中。

## 新しい技術へ挑戦し続ける

私が学生時代を振り返り、今の自分に一番大きな影響を与えたと感じるのは、大学院での研究の日々です。学部3年次に配属された研究室で制御工学に出会い、研究を通して新しい技術に挑戦する面白さを感じ、大学院へ進学することを決意しました。

大学院では、高度な専門知識を学べたことは勿論、理論に基づいて実機で検証するプロセスも実践から学び、それらは現在の仕事に生かされていると感じます。また修士2年次に挑戦した国際学会での発表は、研究成果が世界に認められ、新しい技術に挑戦する醍醐味を味わうことができた瞬間であり、とても印象に残っています。

仕事では、自動車部品



学生時代、国際学会にて

メーカーで電気自動車のシステム設計や開発を担当しています。自動車業界が100年に一度と言われている大変革期に直面している今、電気自動車の開発もスピード感が求められており、いかに快適な空間を生み出すか、長距離を走行できるか等を追求する毎日です。まだまだ若手ですが、大学院での経験を活かし積極的に成果や考えを発信し、高いモチベーションで業務に取り組むことができています。昨年出産したため現在は育児中ですが、時短勤務やテレワークなど柔軟な働き方が可能なため、復職後もこれらの制度を活用して子育てと両立しながら働く予定です。

デンソーは創業当初に電気自動車「デンソー号」を製造した歴史があり、その後もアイドルストップ搭載車やハイブリッド車向けの電動化製品等、多くの製品を生み出してきたように、常に新し

い技術を生み出してきた会社です。そんな会社で、これまで先人たちが培ってきた技術を基に、新しい技術へ挑戦する日々にとってもやりがいを感じます。将来自分の携わった製品がクルマを通して世界の人々の幸せや地球環境に貢献できるようにこれからも挑戦し続けたいです。



「デンソー号」のレプリカと



キャリア支援室  
プログラム紹介

第6回南山大学卒業生キャリア・アドバイザー  
と在学生との交流会

2019年12月7日、「第6回南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会」を開催しました。20代～80代にわたる、様々なキャリアを持ったキャリア・アドバイザー（本学卒業生）にご参加いただき、学生たちは先輩の話に熱心に耳を傾けていました。今後も南山大学から社会で活躍できる人材を多く輩出できるよう、卒業生と在学生とのネットワーク構築・強化を目指して、このような機会を設けていく予定です。



キャリア・アドバイザーとは

南山大学では、在学生のキャリア支援・就職支援のさらなる充実を図るため、社会でご活躍されている卒業生の皆様にキャリア・アドバイザー登録をお願いしています。

キャリア・アドバイザーにご登録いただいた皆様には、本学主催の各種プログラムへのご参加や個別相談を通じて、在学生にアドバイスをお願いしています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

キャリア・アドバイザー登録フォーム：

<https://career.jim.nanzan-u.ac.jp/ca/>



2020年度 南山エクステンション・カレッジ  
学生向け特別講座

南山エクステンション・カレッジでは、将来につながる、南山生のためだけの特別講座を開講しています。学内で、かつ低価格に受講することができます。

講座名／開講期間	講座開講曜日	申込締切日
公務員試験対策講座(総合コース) 2020年5月16日(土)～2020年12月23日(水)	水・土	5月8日(金)
公務員試験対策講座(教養コース) 2020年5月16日(土)～2020年12月12日(土)	土	5月8日(金)
秘書検定準1級対策講座 2020年6月10日(水)～2020年10月14日(水)	水	5月27日(水)
エアライン就職対策講座(春期) 2020年6月6日(土)～2020年7月11日(土)	土	5月27日(水)
エアライン就職対策講座(秋期) 2020年9月26日(土)～2020年10月31日(土)	土	9月16日(水)
教員採用試験対策講座(基礎コース) 2020年9月26日(土)～2020年12月12日(土)	土	9月16日(水)

その他、南山エクステンション・カレッジ公開講座では、資格を取得したい、スキルアップを図りたいなどの意欲がある学生にむけて「日商簿記3級検定試験対策講座」、「3級ファイナンシャルプランニング技能士検定試験対策講座」、「世界遺産検定2級対策講座」、「マナー・プロトコル検定3級対策講座」などを開講しています(有料)。詳細は南山エクステンション・カレッジのWebページをご覧ください。

<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>

[申込み・問い合わせ先]

南山エクステンション・カレッジ事務局(L棟1階)

E-mail : extension-s@nanzan.ac.jp Phone: 052-833-6957 Fax: 052-832-4306



2019年度 学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

【個人】	学生氏名	所属名	対象となる活動	
20名	汲田 祐	理工学研究科	2019 IEEE 8th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2019) IEEE GCCE 2019 Excellent Poster Award	
	鈴木友美加	外国語学部	ドイツ語教育会第1回アイディア賞コンテスト 最優秀賞/第28回駿河台大学ドイツ語暗唱大会 2位/第58回南山大学ドイツ語弁論大会 3位/全日本学生ドイツ語弁論大会 5位	
	彦坂 仁菜	外国語学部	江蘇杯 中国語スピーチコンテスト 一等賞および中国駐名古屋総領事賞	
	間瀬 琴乃	国際教養学部	第22回NBA全国バレエコンクール 1位/第76回全国舞踊コンクール 10位/第32回こころ全国洋舞コンクール 決選出場 ファイナリスト 第52回埼玉全国舞踊コンクール 決選入賞 チャコット賞/青少年のためのバレエ・コンクール第23回ザ・バルコン名古屋 2位	
	春日井雄也	水泳部	第95回日本学生選手権水泳競技大会 100m平泳ぎ 予選49位、200m平泳ぎ 予選45位	
	紀太 直哉	水泳部	第95回日本学生選手権水泳競技大会 200m個人メドレー 51位、400m個人メドレー 49位	
	水野 誠豪	水泳部	第95回日本学生選手権水泳競技大会 200m個人メドレー 66位、400m個人メドレー 52位	
	高見 祐希	洋弓部	全日本学生アーチェリー東日本大会 47位/全日本学生フィールドアーチェリー選手権 進出(台風のため中止)/2019年全日本ヨーヨー選手権大会 ダブルハンドルーピング部門 8位 The Asia Pacific Yo-Yo Championships 2019 ダブルハンドルーピング部門 3位/World Yo-Yo Contest 2019 ダブルハンドルーピング部門 5位	
	打田 琉稀	洋弓部	全日本学生アーチェリー東日本大会 43位	
	原 利通	洋弓部	全日本学生アーチェリー東日本大会 55位	
	白岩ふゆみ	基礎スキー部	第40回東海学生基礎スキー選手権大会 女子個人戦 優勝、女子団体戦 優勝	
	林 和花葉	基礎スキー部	第40回東海学生基礎スキー選手権大会 女子個人戦 2位、女子団体戦 優勝	
	平野紘太郎	基礎スキー部	第40回東海学生基礎スキー選手権大会 男子個人戦 3位、男子団体戦 優勝	
	伊藤 諒大	サッカー部	スペイン人制サッカー全国選手権(Campeonato de Espana de Futbol 7) ベスト16 決勝トーナメント進出	
	【団体】 7団体	山内理紗子	ラクロス部女子	第28回東海学生ラクロスリーグ戦 得点王/第7回World Lacross女子19歳以下選手権大会 5位
		眞野 桃子	ラクロス部女子	第9回APLUアジアパシフィック選手権大会 1位
清水宗一郎		空手道部	創流85周年記念第55回和道流空手道連盟全国大会 形個人戦 高校生～一般男子有段の部 2位	
徳江 航己		陸上競技部	秩父宮賜杯第72回西日本学生陸上競技対抗選手権大会(西日本インカレ) 予選6位敗退/2019年度日本体育大学陸上競技選手権 西日本インカレA標準突破	
渡邊 凌太		陸上競技部	秩父宮賜杯第72回西日本学生陸上競技対抗選手権大会(西日本インカレ) 男子1500m 予選5位、男子800m 予選1位 準決勝敗退/第62回東海陸上競技選手権 4位 第85回東海学生陸上競技対抗選手権大会 2位/第46回東海学生陸上競技秋季選手権大会 優勝 大会新記録	
山田 華生		陸上競技部	秩父宮賜杯第72回西日本学生陸上競技対抗選手権大会(西日本インカレ) 18位	
フィギュアスケート部		対象となる活動	第13回西日本学生選手権大会 4級クラス団体3位	
基礎スキー部		対象となる活動	第40回東海学生基礎スキー選手権大会 男子王座決定戦 優勝/第40回東海学生基礎スキー選手権大会 女子王座決定戦 優勝	
法学部 丸山ゼミ		対象となる活動	東海学生刑法学会 第1位	
ラクロス部男子		対象となる活動	第28回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝/第11回ラクロス全日本大学選手権大会 ベスト8	
ラクロス部女子	対象となる活動	第28回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝/第11回ラクロス全日本大学選手権大会 ベスト4		
聖歌隊 南山大学スコラ・カントールム	対象となる活動	ぼうさいこくたい(防災国民推進大会)2019 開会式・閉会式における演奏		
経営学部 川北ゼミ	対象となる活動	Sカレ(Student Innovation College)2018 総合優勝戦 総合準優勝、ブラン決勝戦 ブラン優勝		

寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

松岳大樹様 加藤重廣様 西田恒隆様 大野一秀様 伊藤真知子様  
梅原弘行様 梶山和子様 大西弘幸様 鈴木孝子様 匿名ご希望者  
杉浦諒子様 富永晶雄様 関谷啓子様 谷口浩司様 10名様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

田村誠久様 株式会社名古屋銀行  
太田進三様 代表取締役 藤原一朗様  
南山大学後援会様

新任用 教員紹介

2020年1月1日付

●外国人留学生別科

語学講師(別科L.I.) 亀井 文馨  
(専攻分野:日本語教育)

語学講師(別科L.I.) 小柳津 成訓  
(専攻分野:第二言語習得、日本語教育)

退職

2019年12月31日付

●外国人留学生別科

語学講師(別科L.I.) 藤本 純子  
語学講師(別科L.I.) 福富 七重

第3代南山短期大学長

ヨハネス・シューベルト師がご逝去

第3代南山短期大学長のヨハネス・シューベルト師(86歳)が、2020年2月11日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。



南山大学

発行 学長室/〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)  
E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp https://www.nanzan-u.ac.jp/